

令和 6年度予算見積調書

課室名：福祉政策課
 担当名：政策企画担当
 内線：3391

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
S4	埼玉県思いやり駐車場制度事業		一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	福祉のまちづくり普及推進事業費		
事業期間	令和 5年度～	根拠法令	埼玉県福祉のまちづくり条例			針路	07 誰もが活躍し共に生きる社会の実現	SDGsゴール	11
					分野施策	0703 障害者の自立・生活支援	SDGsターゲット	11-2	
1 事業概要 障害者や介護を要する高齢者、妊産婦などの外出を支援するため、事業者や市町村と連携して、駐車区画の拡大を図るとともに対象者に利用証を交付することで障害者等用駐車区画の適正利用を進めるパーキング・パーミット制度を運用する。 埼玉県思いやり駐車場制度事業 56,958千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 利用証の作成、発行 10,800千円 イ 広報啓発 3,775千円 ウ 協力区画表示用啓発品の作成・配布 5,383千円 エ 県有施設の障害者等用駐車区画の路面塗装 37,000千円 (2) 事業計画 ア 利用証の作成、発行 利用証を作成し、市町村の窓口等を通じて対象者に利用証を発行する。 (対象：障害者、難病患者、要介護者、妊産婦、けが人など) イ 広報啓発 ・制度及び障害者等用駐車区画の適正利用を周知する。(チラシ・ポスター作成、配布) ・商業施設等、施設管理者に対し駐車区画の登録への協力を依頼する。 ウ 協力区画表示用啓発品の作成・配布 協力区画表示用啓発品を作成し、協力企業等に配布する。 エ 県有施設の障害者等用駐車区画の路面塗装 県有施設における障害者等用駐車区画の路面塗装を行う。 (3) 事業効果 対象者に利用証を発行し、障害者等用駐車区画を利用する際に掲げることで客観的に確認できるようになり、駐車区画の適正利用が促進される。 【活動指標 (アウトプット)】 ・利用証の作成 (54,000枚/年) 【活動指標 (アウトカム)】 ・利用者が対象区画を利用できる割合 (R6:75%) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 県民、民間企業、市町村等との協働により、障害者等用駐車区画の適正利用が図られている。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円 3,200千円×1人=3,200千円									
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比	
決定額	56,958						56,958	△10,000	
前年額	66,958						66,958		

事業内訳書

事業名	埼玉県思いやり駐車場制度事業		
単位事業名	埼玉県思いやり駐車場制度事業	予算額	56,958千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	56,958	△10,000	
合計	56,958	△10,000	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	55,455	△10,000	利用証、チラシ、ポスター作成 県有施設の障害者等駐車区画の路面塗装
役務費	1,503	0	チラシ、ポスター郵送料
合計	56,958	△10,000	